係でしたので、こどもさんに「きれいにできたね」「素敵な色だね」「昔銚子の海にいたんだよ」と声かけしながらあっと言う間の2時間でした。

専門員の岩本さんが、クジラの骨や耳骨、琥珀、木の化石、サメの歯等、レプリカではない本物を実際に素手で触れられるように展示し説明すると、子供だけではなく大人も、驚いたり感心したり、一億年前の琥珀が今でも時々見つかる事、長崎海岸は500万年前のサメの歯の化石のたまり場であった話など興味深く聞いていました。

風が強く、灯台に鯉のぼりが元気よく泳ぎ、五月晴れの気持ちの良い一日でした。

こどもの日に見学会

田中　豊

五月五日（土）午前十時から午後二時まで犬吠埼で有志による犬吠埼無料ジオガイドを実施しました。

当日は天気も良く、ゴールデンウイーク終盤の「こどもの日」であり、灯台イベントも実施されており、灯台周辺には大勢の観光客が訪れていました。

見学会には約四時間の間に、十五組三十六人の方が参加されました。東京、埼玉、神奈川、茨城、千葉と近隣からの参加で、中にはお一人の方もいましたが、大部分がご家族連れのお客様でした。

お客様の中には、杖をご使用のお年寄りの方もいらっしゃいましたが大変お元気で、ご自分の意志で海岸まで階段を下りて、熱心に説明を聞いてくださり、満足されてお帰りになりました。

灯台には銚子海上保安部が揚げたこいのぼりが元気よく泳ぎ、またりしており、飛ばされる心配も全く無く安心でした。このテントが今後大いに活躍しそうです。

なお当日の参加者は十五名でした。皆さんお疲れさまでした。

屏風ケ浦の海岸清掃と現地見学会

白土　紀子

銚子ジオパーク市民の会とナルク銚子合同の「海岸清掃と現地見学会」（毎月第三日曜日実施）が今月は屏風ケ浦で、五月二十日（日）に行われました。

当日の朝は、十四メートルの強風に見舞われ、体感温度が大変低かったため、「参加者が少ないのでは・・・」と心配でしたが、三十九名の方が参加してくださり、その方たちに浸透し、その輪が広がることを期待しています。集まったゴミの量の少なさからも地域の他団体の方たちの活動も徐々に加わってきていることが窺えました。

九時からの一時間に亘る清掃活動が終わり、続いて十二時までは「現地見学会」です。今回は、野外学習の千葉科学大学生二十二名と一般客（埼玉・東京・茨城他）十四名の三十六名が参加してくださいました。

国指定の名勝及び天然記念物の「屏風ケ浦」についてのガイドのやさしい説明と雄大な断崖絶壁の露頭を目前にして、皆さん感動の連続だったようです。その感動を皆さんがこれからの学習や生活にそれぞれの形で生かし発信されることを願っています。

来月は偶数月ですので、第一日曜日の六月三日（日）は長崎海岸の清掃活動があります。また月例の「海岸清掃・現地見学会」は六月十七日（日）で犬吠埼です。たくさんの方たちのご参加をお待ちしています。

新しく購入したテントは正式には今回初めて使われ、重いので設営は大変でしたが、強風でも安心して使えることが実証できました。

清掃活動は地道な活動で、自分たちの活動する姿を見たり聞いたりすれば、必ず一人二人と参加者が増えることを信じていますが、今回その願いが新しい方の参加によって実現しました。今後も人から人へと繋がる波及効果で、徐々に地域